

心をつなぐ「駅伝」

勝つことだけが目的ではない、駅伝の魅力とは何か。

「たすきを渡すことが重要なんです。マラソンは自分のために走れば良いですが、駅伝は人のために走るという責任感が出てくるもの。チーム皆の力で頑張り、楽しめ、悔しがれる。私が指導しているチームも、駅伝大会をきっかけに強くなれたんですよ。」

日本を代表する選手として活躍され、今日、実業団選手を指導する森下監督はそう語ってくれた。

森下監督はスポーツとしての駅伝だけでなく、人と人との心

をつなぐ「きつかけ」としての駅伝の魅力を教えてくれた。

早い、遅いは二の次で、普段何気なく周りにいる職場の同僚や友人たちと交流する、そこで人の気持ちが変わる間柄になれる、と。

この春、季節感漂う清々しい保養村で催される、初めての大きな駅伝大会。

本場の長距離選手の走りを見近で感じながら、普段の何気ない人間関係の深い絆づくりに、照れや恥ずかしさを忘れて、一歩踏み出して参加してみたいものだ。

武雄温泉大駅伝2015 特別ゲスト

森下 広一

トヨタ自動車九州株式会社 所属
(もりした こういち) 監督

鳥取県出身。高校卒業後、北京アジア競技大会で優勝するなど日本を代表する選手として活躍。1992年、バルセロナオリンピック男子マラソンで銀メダルを獲得。現在、トヨタ自動車九州株式会社陸上競技部の監督を務め、若い選手たちの指導を務める。この春、武雄温泉大駅伝のゲストとして、指導する選手たちと共に武雄を訪れる予定の森下監督。武雄の魅力にもぜひ触れてほしい。

「チームの中で選手それぞれが自分にできる役割を担い、人から頼られ、必要とされる人になってほしい。」若手指導では実力だけでなく、人としての成長を重視する森下監督。